

# 学校安全における地域連携 取組について — 宮城県の事例 —

宮城県教育庁スポーツ健康課  
学校安全体育班 指導主事

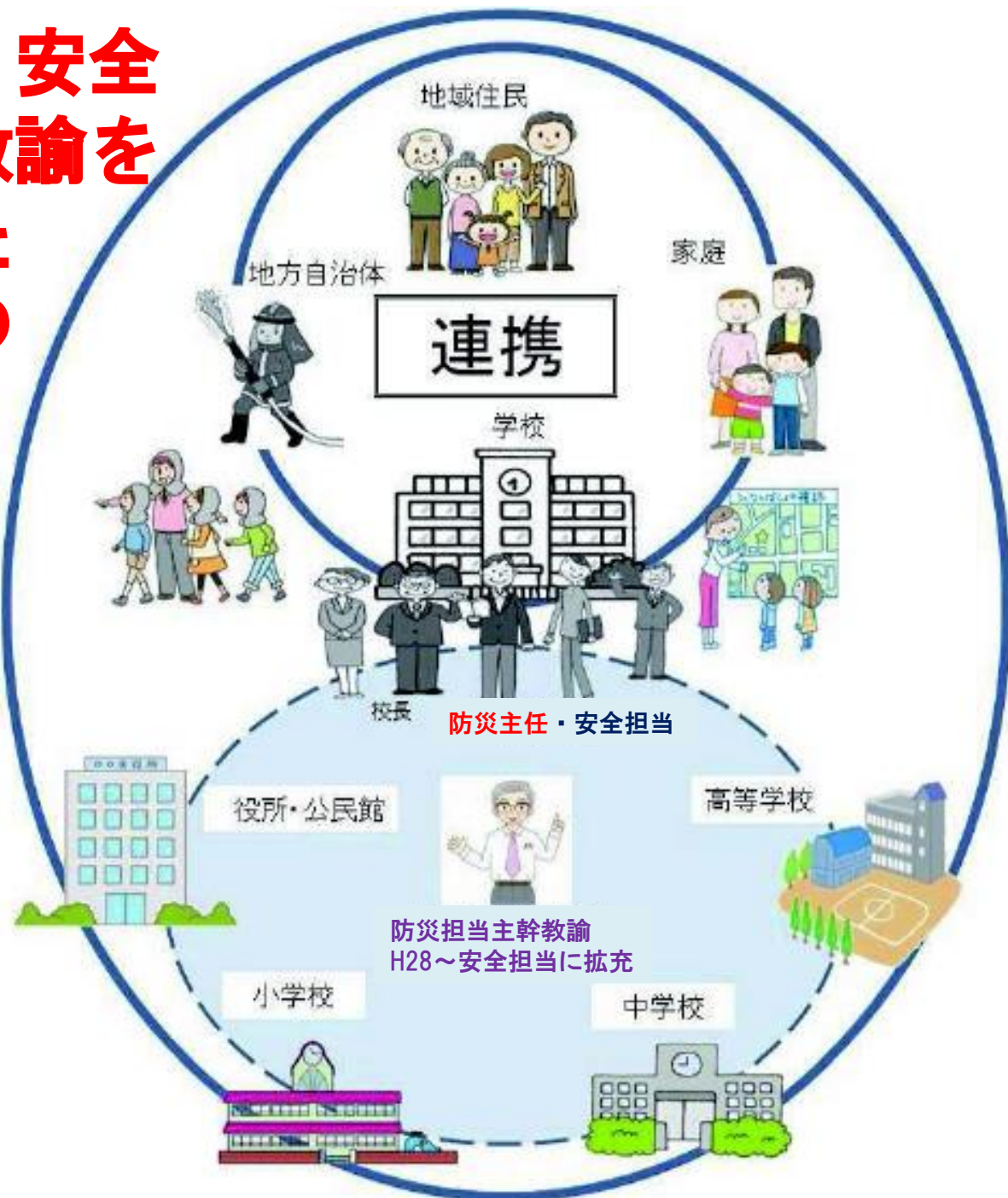
遠藤 貞悟

# 宮城県における人的配置による防災・安全体制構築

※平成24年度より防災主任，防災担当主幹教諭（平成28年度より安全担当主幹教諭）を配置

	防災主任	安全担当主幹教諭
配置	県立公立学校654校667人 (内 安全担当主幹教諭兼務52人)	地域の拠点となる小・中学校 県内全市町村80名(仙台市含む)
役割	<p style="color: red;">学校での防災教育の推進，防災体制の強化の中心的な役割と自校の地域連携推進のコーディネーター役として</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">【 校 内 】</div> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">【 校 外 】</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育指導計画策定</li> <li>・防災訓練の実施</li> <li>・学校防災体制の整備</li> <li>・校内研修企画実施</li> <li>・防災マニュアル策定や見直し</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> </div> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災部局との連絡調整</li> <li>・地域自治会等との連携</li> <li>・地域合同防災訓練実施</li> <li>・近隣学校間との連携</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> </div> </div> <p>※平常時だけでなく，災害発生時の対応や復旧時においても中心的な役割を担う。</p>	<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>【防災担当主幹教諭の役割】(従前の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○域内の小・中学校等の防災主任への支援</li> <li>○学校と地域が連携して防災教育を推進していく体制の整備</li> <li>○防災教育に関する相談，情報提供</li> <li>○小・中学校等の教員に対する研修への協力</li> <li>○合同防災訓練等の実施に向けた，地域内の学校と自治体防災担当部局との連絡調整 等</li> </ul> <p style="color: red; font-weight: bold;">※これを学校安全の3領域【災害安全，交通安全，生活安全(防犯含む)】に拡大</p> <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue; margin: 10px 0;">+</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【いじめ・不登校対策・心のケアに係る地域連携に関する業務】</p> </div> </div>

# 防災主任・安全 担当主幹教諭を 中心とした 地域連携の イメージ



# 大崎市立岩出山小学校における 地域と連携した取組事例

## ○大崎市について

平成18年3月、1市6町が合併し、「大崎市」となる。

- ・人口：133,366人（平成28年8月1日現在）
- ・世帯数：50,536世帯

## ○岩出山小学校のある旧岩出山町について

- ・人口：11,368人（平成28年8月1日現在）
- ・世帯数：4,247世帯
- ・学校数：小学校5校，中学校1校
- ・中学校へは4小学校区からスクールバスで通学。
- ・岩出山小学校は，旧岩出山町の中心校。  
**安全担当主幹教諭を配置。**  
平成28年度「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」における実践校。



# 学校・地域防災(安全)委員会の組織

**設置者**  
○市教育委員会  
学校教育課

**自主防災**  
○婦人防火クラブ  
岩出山支部  
○岩出山地区自主  
防災連絡協議会  
○大学町行政区

**消防関係**  
○消防署岩出山分署  
○消防団岩出山支団

**関係防災担当部局**  
○岩出山総合支所  
地域振興課総務防災担当

**防犯(見守り)関係**  
○防犯協会岩出山支部  
○スクールガード・リーダー

**ボランティア**  
○市社会福祉協議会

**警察**  
○岩出山交番

**PTA**  
○岩出山小学校父母教師会

**社会教育**  
○岩出山地区公民館

**岩出山小学校**  
○校長, 職員等

**町内学校関係**  
○岩出山高等学校  
○岩出山中学校  
○いわでやま幼稚園  
○放課後児童クラブ  
○西大崎小学校  
○上野目小学校  
○池月小学校  
○真山小学校

**アドバイザー**  
○大学教授

# 学校・地域防災(安全)委員会における協議内容

○年3回開催

○主な協議の内容

- ・災害・事故発生時における各機関の方々の対応
- ・自然災害をはじめとする地域の危険箇所の確認
- ・各小学校区等における課題の共有
- ・各学校の地域に根差した防災教育や安全教育への助言
- ・防災訓練(合同引き渡し訓練)等の取組支援
- ・訓練実施後の課題の共有 等



↑大人が地域を知る切り口として資料  
岩出山「歴史編」と「現代編」を作成

←平成27年関東・東北豪雨被害を踏ま  
えた危険箇所の確認

# 学校・地域防災(安全)委員会の取組【平成28年6月開催】

## ○中学校区合同引き渡し訓練の実施に向けた協議

- ・避難訓練の方法を全体で確認
- ・各学校からの課題等を共有
- ・防犯協会からの保護者の車誘導を依頼
- ・実際の災害発生時を想定したそれぞれの立場での協力体制等が意見交換された。



## ○防犯対策を協議

- ・岩出山小学校での不審者対応訓練(不審者を取り押さえるのではなく、警察が来るまで、いかに子供たちのそばに不審者を近付けないようにするかを考える訓練として)
- ・各学校の防犯対策や訓練も共有
- ・地域と連携した対策 等

参加した各学校担当者(防災主任)は、この委員会で話し合われたことをもとに、各学校での地域と連携した安全に向けた取組につなげている。

# 地方紙

# 「大崎タイムス」 が掲載

(平成28年7月2日付け)



## 大規模災害に備え 引き渡し下校訓練

### 岩出山の5小中学校

大規模災害発生時、学校が保護者に子どもたちを引き渡し、安全に下校してもらうための訓練が1日、大崎市の岩出山地域であり、同地域内5つの小中学校合わせて約690人の児童生徒と家族、教員らが不測の事態に備えた。

道などのライフラインが途絶えたとの想定。午後2時半、緊急メールの一斉送信で訓練がスタート。メールを受け取った保護者は定められた時間内にそれぞれの学校へ駆けつけ、担任からわが子、わが孫を直接引き取った。

東日本大震災の際にはなかったという。多田校長は「学校と保護者の皆さん、地域に住む方々の力を結集して実りある訓練ができた。継続が重要」と成果を実感していた。

同地域で震度5強の地震が起き、電気や水  
.....  
迎えに来た保護者へ児童を引き渡す下校訓練  
(岩出山小)

校庭で地割れが起きた岩出山小(多田正博校長、児童数273人)では、同じように校庭の大部分を「立ち入り禁止」として実施。本

番さながらの雰囲気の中、特に低学年の子は不安げな面持ち。数十分後、家族が姿を見せると「待ってたよ」「もっと早く来てもらいたかったな」などと声を上げ、ようやく安堵の表情を浮かべた。

690人児童生徒と保護者ら参加

## 防犯協会も協力

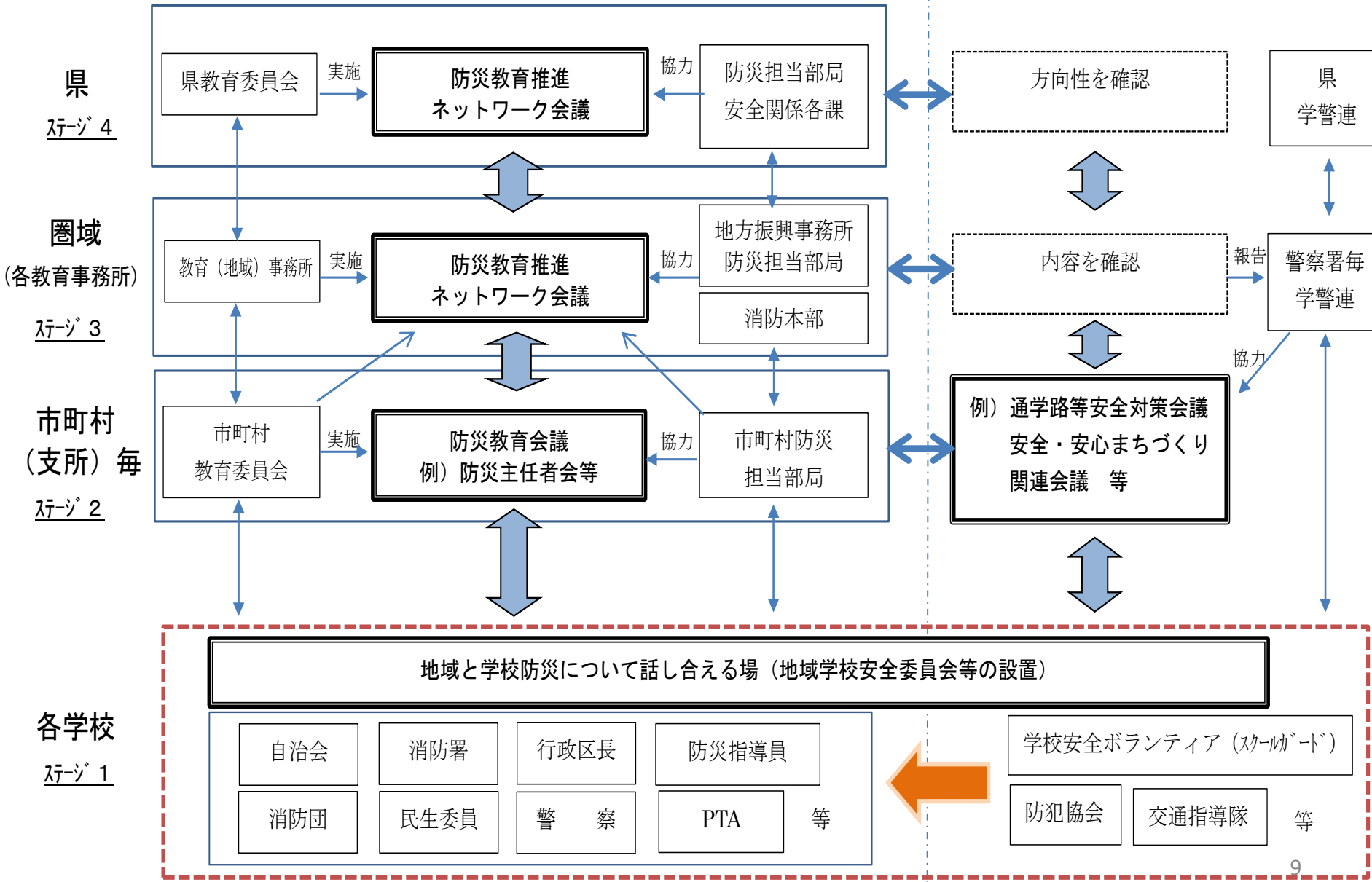




# 今後、宮城が進める地域と連携した学校安全推進体制

## 【 防 災 】

## 【交通・生活安全】



# 今後の安全教育の取組について

## 1 背景・経緯

### 東日本大震災の発生（平成23年3月）

#### 震災発生後5年間の本県の取組（●）、全国的な動き（○）

- 防災担当主幹教諭の配置・防災主任の任命（平成24年4月）
- 「学校安全の推進に関する計画」の閣議決定（平成24年4月）
- 「みやぎ学校安全基本指針」の策定（平成24年10月）
- 「みやぎ防災教育ネットワーク会議」の設置（平成25年7月）
- 大川小学校事故検証委員会が「24の提言」を提唱（平成26年2月）
- 防災副読本「未来への絆」の作成（平成26年3月～平成28年3月）  
【幼稚園・保育園、小学校（低・中・高）、中学校、高等学校】
- 国連防災世界会議が仙台市で開催される（平成27年3月）

## 2 現在の状況

- 各学校の学校防災マニュアルの自校化は100%になっている。
- 地域と学校が緊密に連携した防災教育の実践が求められている。
- 防災副読本を活用した防災教育の展開が可能になっている。
- 「みやぎ防災教育ネットワーク会議」及び「圏域ごとのネットワーク会議」が定期的開催され、県・圏域・市町村レベルでの連携が図られている。
- 「防災担当主幹教諭」を「安全担当主幹教諭」に変更（平成28年4月）

## 3 今後の取組の方向性（案）

- これまでの「防災教育」の取組の成果を生かし、総合的かつ効果的な「学校安全」の推進につなげたい。
- 「志教育」と「防災教育」が連動し、本県の復興に向けた強い心と高い志をもつ児童・生徒を育成したい。

## 4 具体の取組（例）

- 副読本を活用した防災教育の展開
- 国連防災世界会議「仙台宣言」の具現化
- 防災・防犯・交通安全による地域連携
- 「心のケア」の継続的な取組
- 「みやぎ学校安全基本指針」に基づく「学校安全に係る推進計画」の策定
- 2020 東京オリンピック・パラリンピックにおける本県の復興推進のアピール